

第2回愛知学院大学歯学部倫理委員会

平成31年度第2回会議 次第

令和元年 7月11日(木) 15:00～

I. 報告

1. 平成31年度第1回倫理委員会議事録(案)(令和元年5月16日)
2. 再提出状況および委員長決裁について(5件)
3. 再生医療等提供計画の実施に伴う特定臨床研究に係る利益相反自己申告書の提出について
4. 再生医療等提供計画に対する対応について
5. その他

II. 協議

1. 再提出状況および委員長決裁案件について(上記報告の5件)の承認
2. 新規申請の審査(8件)
3. その他

歯学部倫理委員会 名簿

氏名	所属等	委員区分(選出母体)	任期
本 田 雅 規	口腔解剖学講座教授	規程第4条(1)基礎系講座専任教員	2019.4.1～2021.4.1
池 田 やよい	解剖学講座教授	〃	2019.4.1～2021.4.1
長谷川 義明	微生物学講座教授	〃	2019.4.1～2021.4.1
◎ 前 田 初 彦	口腔病理学講座教授	〃	2019.4.1～2021.4.1
長 尾 徹	顎顔面外科学講座教授	規程第4条(2)臨床系講座専任教員	2019.4.1～2021.4.1
○ 武 部 純	有床義歯学講座教授	〃	2019.4.1～2021.4.1
野 本 周 嗣	外科学講座教授	〃	2019.4.1～2021.4.1
松 原 達 昭	内科学講座教授	〃	2019.4.1～2021.4.1
高 木 敬 一	法学部教授	規程第4条(3)学識経験者	2019.4.1～2021.4.1
黒 神 聰		〃	2019.4.1～2021.4.1
柿 田 憲 広	金城学院大学非常勤講師	規程第4条(4)一般人	2019.4.1～2021.4.1
鏡 山 典 子	愛知教育大学教育 学生・国際課 なんでも相談室	〃	2019.4.1～2021.4.1
顧問	鈴木 慎太郎		2019.4.1～2021.4.1

平成31年度 第2回歯学部倫理委員会
インターネット公表一覧

1	実施責任者	奥田 真弘
	研究課題	口腔外科手術におけるプロポフォール麻酔とデスフルラン麻酔のPONV発生率比較検討
	概要	術後悪心嘔吐(PONV)は全身麻酔後に発生する合併症の一つである。麻酔薬によるPONVリスク因子の一つに揮発性吸入麻酔薬の使用があり、患者側のリスク因子としては性別や乗り物酔いの有無等、いくつかの報告がある。患者にPONVリスク因子が複数存在し、術後PONVの発生が予想される場合、麻酔科医によっては、PONVを予防するために揮発性吸入麻酔薬の使用を避け、制吐作用を持つプロポフォールによる静脈麻酔薬での麻酔管理を選択する場合がある。しかし静脈麻酔薬による麻酔管理が揮発性吸入麻酔薬による麻酔管理と比較して明らかにPONVを予防するという報告はない。そこで本研究では、静脈麻酔薬であるプロポフォールを用いる全身麻酔と、揮発性吸入麻酔薬であるデスフルランを用いる全身麻酔のPONV発生率を比較検討し、どちらの麻酔法がよりPONVを減少させることができるかを検討する事とした。
2	実施責任者	友田 篤臣
	研究課題	ヒト抜去歯を用いた歯科用レーザーを併用した新たなう蝕検査・診断法の検討について
	概要	公表不可
3	実施責任者	栗田 賢一
	研究課題	パノラマX線写真を用いた下顎埋伏智歯抜歯後の下唇知覚異常の予測
	概要	公表不可
4	実施責任者	栗田 賢一
	研究課題	顎関節症の治療法選択に関連する臨床およびMRI因子の検討
	概要	公表不可
5	実施責任者	吉田 康夫
	研究課題	antimicrobial Photo Dynamic Therapy(a-PDT)のう蝕予防効果に関する研究
	概要	公表不可
6	実施責任者	嶋崎 義浩
	研究課題	う蝕多発児のリスク要因解明のための疫学研究
	概要	公表不可
7	実施責任者	嶋崎 義浩
	研究課題	歯周病原細菌が関節リウマチ治療の予後に与える影響の検討
	概要	公表不可
8	実施責任者	嶋崎 義浩
	研究課題	自立高齢者の口腔機能と全身の健康状態との関連の検討
	概要	公表不可

平成31年度第2回歯学部倫理委員会議事録

日 時：令和元年7月11日（木） 15時00分

場 所：歯学部基礎教育研究棟 第1会議室

出席者：池田、長谷川、前田、長尾、武部、高木、黒神、鏡山

欠席者：本田、野本、柿田、松原

報 告

1. 平成31年度第1回倫理委員会議事録について

委員長から、資料により報告があり、原案どおりこれを了承した。

2. 再提出および委員長決裁について

委員長から、条件付き承認となっていた1件について、再審査をメール会議により行い承認した。次いで、修正のうえ承認となっていた4件について、規程6条の9項により委員長決裁を行い承認とした旨、報告があった。

3. 再生医療等提供計画の実施に伴う利益相反自己申告書の提出について

委員長から、口腔解剖学講座本田教授より提出のあった「再生医療等提供計画」について、研究分担者となっている4名の教員に対し本学様式の「利益相反自己申告書」の提出を依頼し、提出があった旨、報告があった。

4. 再生医療等提供計画に対する対応について

委員長から、既に外部機関での倫理審査の承認を取っている旨、報告があった。また、本研究の実施に当たり、研究担当者（本田教授、三谷教授、菊池准教授、鳥海講師）および夜間・休日勤務者が不測の事態に対応するためのマニュアルを作成し、医療機関の管理者である歯学部附属病院病院長へ報告・承認を得てもらうこととなった。

議 題

1. 再提出および委員長決裁について

委員長から、条件付き承認となっていた1件について、再審査をメール会議により行い承認し、また、修正のうえ承認となっていた4件について、規程6条の9項により委員長決裁を行い承認とした旨、報告があり、これを了承した。

2. 倫理審査について

委員長から提議され、今回新規8件の申請があり、実施責任者から研究概要の説明を受け判定したい旨述べられ、これを了承し、次のとおり順次実施した。

審査結果について歯学部倫理委員会規程第6条4項に基づき、出席委員の3分の2以上の合意によるものとし、委員長が取り纏めて審査判定を行うこととした。

8件の審査判定について、承認2件、修正の上承認3件、条件付承認2件及び非該当1件とした。

次回委員会について

日時：令和元年9月5日（木）15時

場所：楠元キャンパス 1階 第1会議室

閉 会：17時55分